

日本遺産調査研究成果報告巡回展

# 中世日本の海賊と城II 宣教師がみた西国の海賊

海外の記録に残された「海賊」の姿とは？

尾道遺跡



見近島と能島



## ●展示会場および会期

### 今治市村上水軍博物館

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪 1285 番地 TEL 0897-74-1065

2019年8月24日(土)～9月23日(月・祝)

月曜日休館(祝日の場合は翌平日)

### おのみち歴史博物館

〒722-0045 広島県尾道市久保1丁目 14-1 TEL 0848-37-6555

2019年9月28日(土)～11月4日(月・祝)

火曜日休館(祝日の場合は翌平日)

### 因島水軍城

〒722-2211 広島県尾道市因島中庄町 3228-2 Tel:0845-24-0936

2019年11月8日(金)～12月4日(水)

木曜日休館

●因島水軍城会場では、愛媛県・広島県内遺跡の出土品とパネル展示が中心

観覧料 / 有料 (村上水軍博物館は常設展示共通観覧券)

主催 / 村上海賊魅力発信推進協議会

共催 / 今治市・今治市教育委員会・尾道市・尾道市教育委員会

天草の棚底城跡



# 中世日本の海賊と城Ⅱ 宣教師がみた西国の海賊

日本遺産調査研究成果報告巡回展

ルイス・フロイスから「日本最大の海賊」と呼ばれた村上海賊のストーリーが平成28年4月に文化庁の日本遺産に認定されました。そして同年から平成30年度にかけて、日本遺産魅力発信推進事業調査研究事業の一環として、村上海賊と全国の「海賊」や後に「水軍」などと呼ばれる海の勢力との比較研究を行って参りました。

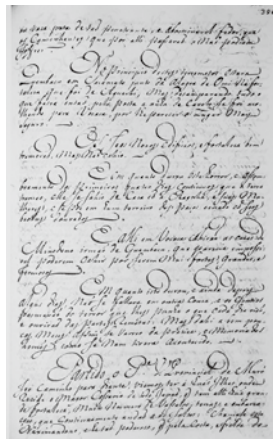
この事業の目的は、中世日本の海賊と城の特徴を明らかにし、パイレーツとは異なる日本の「海賊 KAIZOKU」の歴史文化を世界に発信するための基礎的な研究にあります。その成果は、平成30年度にシンポジウム・巡回展・調査報告書として公開を始めました。

この巡回展は、調査研究成果を報告する巡回展の第2弾です。村上海賊と同様に、宣教師が出会った「西国の海賊」、とりわけルイス・フロイス『日本史』に頻繁に登場する九州西岸の海の勢力にスポットをあて、村上海賊との共通点や違いを明らかにします。

## 展示構成 (予定)

### (1) 宣教師がみた西国の海賊

- ・イエズス会士日本通信(原本:天理大学附属図書館蔵)
- ・ルイス・フロイス『日本史』複写版(原本:大村市史料館蔵)  
※いずれも展示は写真パネル



ルイス・フロイス『日本史』複写版  
「日本最大の海賊」  
大村市立史料館 写真提供



村上武吉過所船旗(原品:個人蔵)  
展示は複製

### (2) 瀬戸内海 of 海賊と城

—村上海賊を中心に—

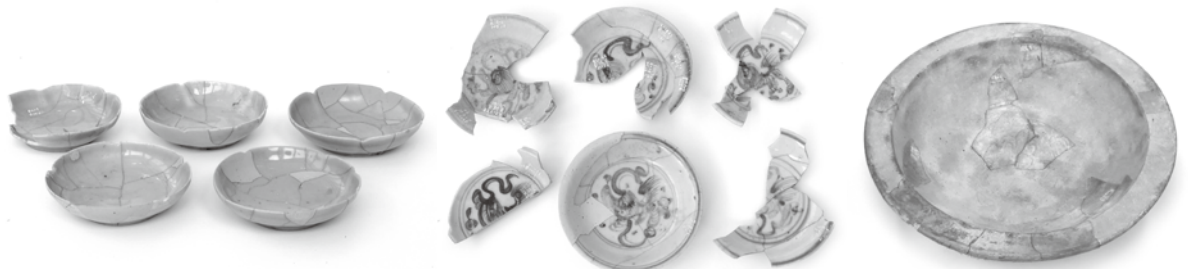
- ・能島城跡出土遺物(今治市村上水軍博物館保管)
- ・塩飽島に関する「村上武吉書状」(個人蔵)
- ・「札浦」(通行料を徴収する港)に関する因島村上家文書(原本:個人蔵・因島水軍城保管) ※展示は写真パネル

### (3) 宣教師がみた九州の海の勢力(針尾氏と深堀氏)と城

- ・針尾城跡出土遺物(佐世保市教育委員会保管)
- ・深堀貝塚遺跡出土遺物(長崎市教育委員会保管)

### (4) 海の勢力と流通—九州西岸と瀬戸内海の共通性—

- ・天草一揆衆の棚底城跡・上津浦城跡出土遺物(天草市保管)
- ・見近島城跡出土遺物(今治市村上水軍博物館保管)



見近島城跡出土中国陶磁器(今治市村上水軍博物館保管)

- ・湯築城跡出土遺物(愛媛県教育委員会蔵)